

	所 属	現代社会学部 現代社会学科
	専 攻	現代ビジネス専攻
	主な担当科目	国際経済学、統計学、コンテンツ産業論
	氏 名	梅本 克
	フリガナ	ウメモト マサル
	職 位	教授
	学 位 等	Ph.D.(経済学)

研究内容・社会業績等

文化経済学・国際経済学

研究テーマ:「地域文化資本を活用した観光政策」、「関係人口のコミュニティデザイン」
 福岡県未来ITイニシアティブ(旧:福岡県Ruby・コンテンツビジネス振興会議)顧問

論文・書籍・資格等

「ウィズ/アフターコロナの秋葉原-ビジネスの変容と生存戦略-」(ATPAセミナー講演 2021)、「秋葉原におけるDXの歩みと課題」(秋葉原DXエンターテインメント協会設立説明会講演 2022)、「デジタルが秋葉原カルチャーに与えた影響」(DHU JOURNAL Vol.09 2022)、「コロナで変わる秋葉原の観光戦略」(ATPAセミナー講演 2022)、「多様性への寛容と包括的コミュニティの凝集性」(至誠館大学研究紀要 第10巻 2023)、「秋葉原中央通り危機 — 髪からの大逆転」(AKIBAサブカルサミット講演 2023)、「秋葉原におけるライブエンタテインメント市場規模に対するソーシャルキャピタルの影響」(DHU JOURNAL Vol.11 2024)、「コロナ禍における店舗集積と地域経済への影響—秋葉原地域のTCGショップの事例—」(至誠館大学研究紀要 第12巻 2025)、「地域の持続可能な観光産業とオーバーツーリズム—秋葉原におけるコモングの悲劇の事例—」(至誠館大学研究紀要 第12巻 2025)

学生へのメッセージ

山頂を目指してひたすら山道を登るように「よい大学で学び、よい会社で働く」ことで安定した豊かさが約束された時代は終わり、皆さんは今、大海を当て所なく漂い、沈み溺れることを不安に感じながらも、生きるためには必死にもがかなければならない時代に生きているのです。

それはつまり、本物の「生きる力」を身につければ、どこへでも行くことができる自由があるとも言えます。

今はもう「安定」など、どこにもありません。先が読めない「不安定」さを楽しみながら、自分の可能性を信じ希望を持って社会で活躍できるように、大学での生活の中で自分の進むべき方向を見つけ、しっかり「生きる力」を身に付けて下さい。